

## 平成29年度 第4回燕警察署協議会議事概要

|      |                                 |   |                                     |                         |
|------|---------------------------------|---|-------------------------------------|-------------------------|
| 開催日時 | 平成30年2月19日（月）午後4時00分から午後5時35分まで |   |                                     |                         |
| 開催場所 | 燕警察署講堂                          |   |                                     |                         |
| 出席者  | 委員<br>(定数7人)                    | 中川会長<br>服部委員                                    | 池田副会長<br>堀委員<br><br>(会長・副会長以下50音順)  | 信田委員<br>山田委員<br><br>計6人 |
|      | 警察                              | 藍澤署長<br>渡邊留置管理課長<br>五十嵐生活安全課長<br>加藤刑事課長<br>警備課長 | 荒木副署長<br>小口会計課長<br>小林地域課長<br>小池交通課長 | 警務課長<br>計10人            |

### 管内の治安情勢

署長から、平成29年中の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

### 前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

#### 1 特殊詐欺被害防止対策を重点とした犯罪抑止対策の推進

##### (1) 特殊詐欺被害防止対策の推進

###### ア コンビニ対策の強化・推進

12月の金融機関警戒に合わせて、管内のコンビニエンスストア33店舗に対して警察本部が作成した、被害防止のための「電子マネー型詐欺」啓発用収納袋を配布した。この収納袋は、お金を電子マネーにより振り込ませるという特殊詐欺の手口が急増していることを受けて実施したもので、店員が電子マネーをこの収納袋に入れてお客に渡すことで注意喚起を行うものである。

###### イ 特殊詐欺被害者に対する通話録音装置の貸出し

平成29年に特殊詐欺の被害に遭った被害者宅に通話録音装置を設置してもらい、再被害防止対策の徹底を図った。

###### ウ あらゆる機会を通じた広報啓発活動の推進

特殊詐欺の被害に遭った高齢者の方から聴取すると、全ての高齢者が、自宅の固定電話で犯人側と話をした結果、だまされていることが判明した。

そのため、

- ・ 自宅の固定電話を常時、留守番電話に設定する
- ・ 迷惑電話撃退防止サービス付電話を設置する

ことを広報の重点にしてあらゆる機会を通じて被害防止広報を推進する。

## 2 各種交通事故抑止対策の推進

### (1) 冬の交通事故防止運動の実施

運動期間中に交通事故防止のため、夕暮れ時におけるパトカーでの赤ランプ広報、交通安全啓発活動と交差点関連違反及びシートベルト・チャイルドシート着用義務違反を中心とした交通取締りを強化した。

また、この期間に広報を実施した主なものとしては

- ・ 吉田地区（12/11）、分水地区（12/12）における飲酒運転根絶飲食店訪問活動
- ・ トラック事業所への共同安全パトロール（12/13）
- ・ スーパーマーケットにおける夜光反射材配布活動（12/15）
- ・ 吉田寿町地内における高齢者交通安全家庭訪問（12/19）

である。

## 諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

### 1 特殊詐欺被害防止対策を重点とした犯罪抑止対策の推進(継続)

平成29年に増加傾向となった特殊詐欺被害について発生件数、被害額ともに減少させるため、これまで実施した対策を抜本的に見直すとともに、あらゆる機会を通じた広報活動を行う。

また、関係機関と連携して広報対象を広げることにより、広範囲に情報を浸透させ、被害防止を推進する。

### 2 各種交通事故抑止対策の推進(継続)

4月6日から春の全国交通安全運動が実施されることから、運動期間中における交通事故防止のための、街頭赤ランプ広報及び取締り等の街頭活動を強化するとともに、新入学期を迎えるに当たり、子どもに多く発生している歩行中や自転車乗用中の交通事故の根絶に向けて、家庭、学校等と連携し交通安全指導及び広報啓発活動を推進します。

## 諮問に対する意見・質疑等（○は署長等の説明）

委員から交通事故抑止対策として次の意見が出された。

### 1 高齢者の交通事故を防ぐために高齢者の講習を推進してほしい。例えば、高齢者が集まる敬老会等において交通安全講習を行うのが効果的と思われる。それも1回だけというのではなく、繰り返し講習することにより効果を上げられると思うので実施してもらいたい。

○ 御意見のとおり繰り返し講習を行います。また、昨年、高齢者と幼稚園児を一緒にした講習を実施し、大変に効果があったと考えています。今後も、効果が上がるように工夫を凝らした講習に努めます。

## 答申

燕警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

## 意見・要望・質疑等（○は署長等の説明）

**1 高齢者による交通事故が多発している中で免許証の自主返納制度が効果があると思われるが、どのように広報しているのか。また、免許証を返納した者が不便を感じないことが制度の促進につながると思うが、どのような対策を取っているのか。**

○ 認知機能検査の結果等で認知症の疑いがあると判断された方には自主返納を勧めています。行政も市報等で広報を行っています。

免許証を自主返納された方には、希望者に対して「経歴証明書」という免許証に類似した身分証明書を発行していますし、燕市でも自主返納した方には公共交通機関利用の支援も行っています。行政、民間等の他機関と連携して自主返納者の利便性向上を図っていきます。

**2 最近、空き家となっている家が散見される。家の鍵が掛かっている、車が放置されたままになっている等、防犯上問題が見られる空き家が多く不安である。空き家対策は、どの様に行っているのか。**

○ 雪害で空き家が破損等した事案が発生した際、近隣の者から管理者を聴取して連絡したという状態でした。空き家は、放火等の被害に遭うおそれもあることから行政と連携して空き家の実態及び管理者について基礎資料を整備していきます。

## 速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

## その他



【協議会開催状況】